

令和8年度

宮城大学研究・共創フォーラム

「地域のリーダーと考える震災復興のこれまでとこれから」

開催形式

ハイフレックス形式(対面+オンライン)

対面 宮城大学大和キャンパス交流棟2階 PLUS ULTRA-

オンライン ZOOMウェビナー

参加定員

対面 50名 **オンライン** 200名

※対面、オンラインともに定員に達し次第締め切らせていただきます。

申込締切

令和8年9月15日(火)17:00

プログラム

1. 開会あいさつ
2. 基調講演
3. パネルセッション
4. 質疑応答
5. 研究・共創事例の発表
6. 閉会あいさつ

参加無料

令和8年

9月18日(金)

13:30—16:15

本学の研究シーズや地域との共創事例を紹介し、地域の自治体や企業・団体・医療機関等の皆様とのさらなる連携の機会を創出することを目的に、「令和8年度宮城大学研究・共創フォーラム」を開催いたします。

「地域のリーダーと考える震災復興のこれまでとこれから」をテーマとし、基調講演、パネルセッション等のプログラムを実施いたします。

様々なステークホルダーの皆様のご参加をお待ちしております。



公立大学法人

宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

プログラム詳細、参加方法は裏面をご覧ください





13:30ー13:35	開会あいさつ 学長 佐々木 啓一
13:35ー14:05	基調講演「南三陸町・東日本大震災からの創造的復興」 宮城県南三陸町・前町長 南三陸 311 メモリアル特別顧問 佐藤 仁 氏
14:05ー14:35	パネルセッション「地域のリーダーと考える震災復興のこれまでとこれから」 モデレーター:事業構想学群 教授 平岡 義浩 パネリスト:看護学群 教授 竹本 由香里 事業構想学群 教授 中田 千彦 食産業学群 特任教授 西川 正純
14:35ー14:45	質疑応答
14:45ー14:55	休 憩
14:55ー15:10	研究・共創事例の発表 (1)看護師の災害からのレジリエンスを未来へ生かす 看護学群 准教授 高橋 葉子
15:10ー15:25	(2)移住した被災高齢者の生活適応を支える地域支援のあり方 看護学群 助教 小野寺 悦子
15:25ー15:40	(3)被災地への移住はいかに生まれるのか 一移住要因と災害時の利他行動に着目して一 事業構想学群 助教 齊藤 祐輔 事業構想学群 助教 中沢 峻
15:40ー15:55	(4)イチゴワインがつなぐ地域復興と産学連携 食産業学群 教授 金内 誠
15:55ー16:10	(5)福島第一原子力発電所事故による放射線影響 ～旧避難区域における豚及びイノシシの放射線被ばく線量および遺伝子発現解析 食産業学群 教授 森本 素子
16:10ー16:15	閉会あいさつ 理事長 佐野 好昭

参加方法

申込期限 令和8年9月15日(火) 17:00

下記 URL または右記 QR コードよりお申し込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/1D0ByfXc8Z>



お問合せ先

宮城大学研究推進・地域未来共創センター

担当:竹澤・庄子

TEL:022-377-8319

E-mail: h-kenkyu@myu.ac.jp